

## 事業評価書

|                                     |   |                 |   |   |   |   |                 |
|-------------------------------------|---|-----------------|---|---|---|---|-----------------|
| 補助事業名                               | 三沢飛行場等関連公共用施設<br>(社会福祉施設:保健相談センター便所改修工事)整備事業  |                 |   |   |   |   |                 |
| 補助事業者名                              | 三沢市長  |                 |   |   |   |   |                 |
| 実施場所                                | 青森県三沢市中央町一丁目3番10号   |                 |   |   |   |   |                 |
| 補助事業の<br>成果の目標                      | 保健相談センターは、今日まで乳幼児健康診査やがん検診、子育て支援、こころのケア相談などで世代を超えて多くの市民に利用されている。<br>しかし、当センターは、昭和57年度に整備されてから、30年以上経過している。<br>本事業は、老朽化した衛生設備の機器等を更新するとともに、バリアフリー化を行うことで利用者の利便性の向上を図るために実施するものである。   |                 |   |   |   |   |                 |
| 補助事業の内容                             | 便所改修工事  |                 |   |   |   |   |                 |
| 補助事業の<br>始期及び終期                     | 平成27年度  |                 |   |   |   |   |                 |
| 事業費及び交付金額                           |   | 平成27年度          |   |   |   |   | 計               |
|                                     | 事業費   | 円<br>18,650,520 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円<br>18,650,520 |
|                                     | 交付金額  | 16,000,000      |   |   |   |   | 16,000,000      |
| 補助事業の成果及び<br>評価並びに地域住民<br>への周知の実施状況 | <p>施設利用者に対し、工事の成果の聞き取りを行ったところ、衛生機器が更新されたことや、床の段差をなくしバリアフリー化を行ったことなどで、以前より清潔で利用しやすくなったとの回答があった。</p> <p>また、身障者用便所にベビーシートを設置し、多目的便所としたことで、乳幼児健診に来訪する住民の利便性も図られ、事業が円滑に行われていることが確認できた。</p> <p>地域住民への周知方法として、工事期間は、調整交付金事業を活用し、本事業を行った旨の表示を工事看板に貼り住民への周知を図った。</p> <p>工事終了後は、便所にステッカーを貼り、市ホームページや広報紙に掲載し、地域住民への周知を図った。</p> |                 |   |   |   |   |                 |
| 事業の改善策及び<br>今後の対応                   | 築30年以上の建物であるため、今後も老朽化した部分の改修等が必要となるが、地域住民の理解を得ながら、施設の利便性を図っていく。   |                 |   |   |   |   |                 |
| 事業評価に際しての<br>第三者機関の活用の有無            | 無   |                 |   |   |   |   |                 |